

各モデル地区の進捗状況一覧(抜粋)

		鳴子ダム	天ヶ瀬ダム	来島海峡大橋	鶴田ダム	八ッ場ダム
現地協議会	組織 既存	鳴子ダム水源地域ビジョン幹事会	天ヶ瀬ダムを観光資源に含めた宇治市地域の観光発展検討会	環瀬戸内海地域交流促進協議会	川内川水系かわまちづくり観光振興部会	チームやんば
	連携 団体	NARU-GO!再生プロジェクト	京都京阪バス(株)、宇治観光ボランティアガイドクラブ、(独)水資源機構、関西電力(株)	今治市、(一社)愛媛県観光物産協会、(公社)今治地方観光協会、(一社)尾道観光協会、(一社)しまなみジャパン、道の駅よしうみいきいき館	(株)薩摩川内市観光物産協会、NPO法人ひっ翔べ!奥さつま探検隊、NPO法人バイオマワークあつたらし会、NPO法人水と地球	道の駅八ッ場ふるさと館 川原湯温泉協会 長野原観光協会
事業方針(案)	概要	鳴子ダム魅力倍増・通年化プロジェクト ・四季折々の美しさの見せ方	天ヶ瀬ダムをコアにした「お茶の京都」魅力発信プロジェクト ・有名観光地からの外国人観光客の誘致	しまなみ海道魅力拡大プロジェクト ・橋の見せ方・体験プログラム	さつま観光未来プロジェクト ・インフラツーリズムの可能性の拡大	※これまでの取り組み H29: やんばツアーズ開始 ①やんばコンシェルジュ ②目的別見学プラン ③八ッ場ならではの体験と特典 ④受入人数の増強 ⑤外部・地元との連携強化 H30: 見学ツアーの拡充 R1: 10月以降、地元主体でのツアー実施へ移行
	目標	・鳴子ダム観光の通年化	・京都市内からの観光客誘致数の増加 ・滞在時間の増加	・高単価な見学ツアーの設定	・多様なインフラ見学ツアーの構築	
ツアー設定(案)	インフラ 施設	◆見学プログラムの通年化 ①すだれ放流の通年実施 ②夏・秋・冬の見学ツアー ③鳴子ダムの歴史学習ツアー	◆インフラ施設・産業遺産 ①天ヶ瀬ダム見学ツアーの魅力向上 ②同水系支流ダム見学と組み合わせたツアー ③発電施設と組み合わせた見学ツアー	◆塔頂体験の商品化 ①個人で随時予約できる定時出発ツアー ②日時を限定した少人数・高付加価値ツアー ③フォトウェディングなど貸切塔頂プラン	◆団体向けツアー ①小中学生向け教育旅行 ②バリアフリー対応見学ツアー ③旅行会社とのタイアップツアー ④テクニカルビジットツアー ⑤ダムマニア満足ツアー ⑥焼酎貯蔵記念体験	※集客実績の推移 ・やんばツアーズ参加者 H28: 2,800人 H30: 55,000人 ・やんば見放題来訪 H28: 83,000人 H30: 205,000人
	周辺 地域連携	◆周辺地域の観光資源との連携 ①温泉宿泊とダム見学組み合わせツアー ②ライトアップと組み合わせたイベント実施 ③発電施設と組み合わせた見学ツアー ④上流のダムから河口(石巻)をつなぐツアー	◆周辺地域の観光資源との連携 ①宇治地域宿泊とダム見学を組み合わせたツアー ②世界遺産・日本遺産と連携したツアー ③宇治川でのEポート(大型カヌー)の特別運行	◆周辺地域の観光資源との連携 ①村上海賊と連携したツアー ②しまなみ海道サイクリスト向けスタンプラリー ③橋を多様な場所・時間から眺めるツアー ④富裕層向け特別プラン	◆個人向けツアー ①温泉宿泊とダム見学組み合わせツアー ②個人客1名から受け入れの高満足ツアー ③鶴田ダム大鶴湖遊覧船の期間限定運行 ④観光(点検)放流の実施 ⑤発電施設と組み合わせた見学ツアー	
第1回協議会概要	意見 要旨	・紅葉時期以外の魅力の発信が課題 ・案内できるガイドが少ない	・既存のツアー(団体)は最少催行人員に達せず中止が発生 ・宇治の売りは「お茶」「寺院」 ・宇治市で観光振興アクションプラン作成	・塔頂にはガイド、保安要員が必要 ・塔頂用のエレベーターは定員が少ない ・馬島へは自転車や定期船、観潮船など複数アクセス可	・顧客価値の追加や周辺観光資源との連携が必要 ・点検放流を、風物詩としてアピール ・ダム湖面から旧曾木発電所遺構へ行くツアーを検討中	※ヒアリング、アンケート ・各組織の意識及び財源、ハード整備の格差 ・認知度・情報不足
	反映 事業 方針への	・通年でどのように見せるか ・「水」をテーマにしたツアー設定	・宇治市の取組との連携 ・「ダム」「お茶」「寺院」をテーマにしたツアー設定	・地元や民間との連携によるガイド・保安要員の確保 ・各アクセス手段によるツアーの設定	・顧客価値と、周辺観光資源との連携を意識した商品企画 ・遺構や点検放流をセットにしたツアー設定	・ターゲットは台湾、タイ、オーストラリア ・温泉+ダム周辺のアクティビティ有効性検証
ファミツアー 意見集約	評価 点	・災害、震災時の話は興味を引く ・日本の歴史文化は外国人の興味を引く ・地域のひととの交流は魅力的	・キャットウォークはエキサイティング ・食事がベジタリアン等にも向いている ・お茶の体験が気軽に体験できるのが良い	・橋の塔頂は特別感がある ・地元の人の生活を見るのは面白い	・ダム内部の見学は貴重な体験 ・ダム放流イベントのマルシェは楽しかった ・サムライツーリズムは子供たちとの交流もあり良かった	・ダムを見て、すぐ側の温泉宿に泊まるルートは魅力的 ・歴史やストーリーがあり紹介する価値がある
	課題・ 改善 点	・インクラインの乗車定員が少ない ・夜の観光としての活用があれば宿泊増に寄与	・天ヶ瀬ダムが宇治を支えているストーリーが欲しい ・アクティビティがあると良い ・京都と比べてPR不足	・橋の技術について説明がほしい ・橋の説明は専門性があり、わかりやすく説明できるネイティブのガイドが必要	・ダムへの仕組み解説や英文パンフがほしい ・アクティビティと組み合わせた幅広いプランがあると良い	・アクセスが一番の課題 ・前後にどういストーリーを付けて魅力的にするかが課題
第2回協議会概要	意見 要旨	・運営体制の役割分担について年度内に確認 ・次年度以降、能動的に推進する方向性について共有	・(開催日程調整中)	・ツアー運営主体について認識を共有 ・4月以降の社会実験を目指して調整を開始 ・オペレーション人材の確保について合意	・地元にとってのインフラツーリズムの意義について認識を共有 ・収益事業として成り立つ仕組み、体制の構築について確認	・今後、地域住民、企業が主体となり、完成後のダム堤体等を活用した見学ツアーや、地域の観光資源とダム周辺の観光施設の連携によるインフラツーリズムの自走へ
	今後 の 取 組 み	・商品化に向けた取り組み ・収益化を目指した持続可能モデルの具現化		・塔頂体験の週末実施に関する検討 ・運営体制に関する合意形成の調整 ・ガイドシナリオの内容等に関する検討	・継続的な運営体制の検討 ・各自自治体が利益を享受する仕組みの構築	